

## ダンボールコンポスト Q&A

- 1 **Q** ダンボールコンポストのメリットは何ですか？  
**A** 家庭ごみを減量できます。焼却施設や収集車の負担が軽くなり、地球温暖化防止にもつながるでしょう。電気や水は使いません。
- 2 **Q** ダンボールコンポストはどのような所に置けばいいですか？  
**A** 室内で15℃以上の場所に設置をすることをおすすめします。ベランダに設置をしても構いませんが、雨が当たらないように設置をしてください。
- 3 **Q** 基材のピートモスやもみ殻くん炭は、どこで購入できますか？  
**A** ホームセンター等で購入できます。ピートモスともみ殻くん炭を配合した基材、ダンボールコンポスト用の厚手ダンボールを風土飲食研究会の会員店で販売しています。詳細は、市ホームページまたは環境課へご確認ください。
- 4 **Q** 入れてはいけない生ごみはありますか？  
**A** 食べ物であれば基本的にありません。みかんの皮など食物繊維が多いものや鳥の骨は、分解に時間がかかります。入れる際は、できるだけ小さくしてから入れましょう。また、防腐剤がたくさん付着している果物の皮等は、分解されにくいいため注意してください。
- 5 **Q** 生ごみはたくさん入れたほうがいいですか？  
**A** 入れ過ぎてしまうと分解が進みにくくなります。1日に入れる目安として、500gまでがいいでしょう。生ごみを入れる際は、小さく切ってから入れると、分解されやすくなります。
- 6 **Q** 生ごみが分解されません(温度が上がリません)。  
**A** カロリーの高いものや発酵食品を入れてみましょう(使用済みの食用油やヨーグルトなど)。また、暖かい日には直射日光に当てることも有効です。
- 7 **Q** 水分が多いようです。  
**A** 水がにじむ場合は水分過多です。乾かしたコーヒーかすやお茶殻などを加えてよく混ぜましょう。
- 8 **Q** 水分が少ないようです。  
**A** 水分が少ないと発酵が進みません。余ったジュースや煮物の汁、酢の物の汁を加えてみてください。

- 9 Q 臭いがきついです。
- A コンポスト内部に空気(酸素)が足りない状態です。しっかりかき混ぜましょう。特に肉や魚を入れた際は臭いが出やすくなりますので、しっかり混ぜてください。野菜くずを中心にした方が、臭いはきつくなりません。
- ※臭いが気になる場合の対策方法
- コーヒーかす、お茶殻、ハーブの葉類、細かく切ったリンゴの皮やみかんの皮を入れると、消臭効果があります(リンゴの皮やみかんの皮は、1~2日、天日干しをしてから切って入れるといいでしょう)。
- 生ごみは溜めてから入れることはやめましょう。溜めている間に腐敗が始まり、臭いの元となります。
- 10 Q 虫が気になります(虫がわいてしまいました)。
- A 土の温度を上げましょう(Q6参照)。また、生ごみが分解されないまま残っていると、虫が発生しやすくなるため、よくかき混ぜましょう。
- 虫を入れないことも大切です。隙間をふさいで、新聞紙や使い古しのTシャツ等でカバー(蓋)をしましょう。
- 11 Q 白いカビが発生しました。
- A 分解を助けてくれますので、取り除く必要はありません。生ごみと一緒によくかき混ぜましょう。
- 12 Q どのくらいの期間、生ごみを入れたほうがいいですか？
- A 2~3ヶ月です。生ごみの分解が遅くなった(全体が黒っぽくなり、塊ができてきます)と思ったら、生ごみの投入をやめてください。
- 13 Q 生ごみの投入をやめてから、すぐにたい肥として使用できますか？
- A 投入をやめてから、1週間に1回くらい混ぜながら、1ヶ月間ねかせます。後にたい肥として利用できます(パサパサした状態になっています)。
- 14 Q たい肥として使用しない場合は？
- A ダンボールコンポストの基材として、再利用できます。再利用する場合は、3ヶ月ほど寝かせましょう。分解力が戻ります。
- 参考・・・ダンボールコンポストを2個用意し、交互に使用すると、半永久的に使うことができます。